

# 感動を与える酪農

ライズコンサルティングオフィス  
酪農コンサルタント

加藤 隆

酪農は、高度な技術がある「科学技術産業」です。

私たちのまわりには、科学の裏付けを示す数字が並んでいます。たとえば、その数字が読めたとしても、まじめで、勤勉な人でなければ酪農は務まりません。休みがない仕事ですが、努力の結果が見えた時、「ああ、いい仕事だな」って思えるのです。

カナダの牧場に滞在していた時のことです。その牧場には、ほぼ毎日、来客がありました。子牛の哺乳をやりたいと申し出る女の子もいました。

「やっつてごらん」と哺乳瓶を手渡すと、無心で飲ませる女の子。その子が、突然、「この子のお母さんはどこなの?」と聞いてくるのです。「あそこ大きな牛舎にいるよ」と教えてあげると、「なんで? どうしてこの子にお乳をあげないの?」そんな質問が返ってきました。

町の子は、知らないんですね。

広尾に新規就農してがんばっている小田さんは、サラリーマンの生まれですが、幼い時に酪農体験したことが忘れられなくて、北海道に進学、そして、就農したと聞いています。そういう人は、多いですね。

ずっとその場所にいるとわからないけれど、酪農は、とても魅力的に見える仕事なのです。先輩であるみんなが、楽しく働いている姿を見せてあげることができれば、酪農は、すそ野を広げるはずですよ。

寒い季節になりましたが、がんばりましょうね。

平成二十年十一月十一日